

- ・ 本年 5 月の第 185 回より、対面のみ形式によって弊会の運営が進んでいます。
  - ・ 定員は対面 100 名とし、先着順のもと個人会員と特別会員を優先して受け付けます。1 社あたりの申込人数に制限はありませんが、申込者多数の場合は人数を調整させていただく場合があります。
  - ・ 個人会員と特別会員によって定員に達した場合、非会員からのお申込みをお断りすることがあります。
  - ・ 土木学会の CPD プログラムに認定されています。ご必要の方には、会終了までの完全なご参加の後、土木学会継続教育 (CPD) に関する参加証明書を交付します。
- なお、他団体へ申請される方には他団体のルールに従っていただきます。
- ・ 不測の事態に応じて中止になることがありますので、ご了承ください。

令和 5 年 10 月 3 日

各 位

軟弱地盤研究会（第 189 回）のご案内

軟弱地盤研究会

会長 日野剛徳

日 時：令和 5 年 10 月 27 日（金） 14 時～16 時（1 時間講演、1 時間質疑応答、休憩なし）

場 所：建設業協会佐賀 2F 会議室（〒849-0918 佐賀市兵庫南二丁目 13 番 5 号 TEL 0952-24-2711）

話 題：深層混合処理工法と真空圧密工法を組み合わせた軟弱地盤対策

講演者：錦城護謨（株） 土木事業本部 技術営業室 白神 新一郎 氏

概 要：講師から下記の概要をいただきました。

真空圧密工法は、地盤に打設したドレーン材に負圧を作用させ、その負圧を荷重として地盤に作用させ、軟弱な粘性土の圧密沈下を促進させる工法であり、軟弱地盤上の盛土造成における圧密安定対策として用いられる。真空圧密工法は固化系の対策工法と比べて経済性に優れる一方、圧密沈下により周辺地盤の変状を伴うことから、盛土端部を深層混合処理工法で改良する併用工法が用いられることがある。

本講演では、佐賀県内の有明粘土地盤を想定した道路盛土条件において、真空圧密工法に周辺への変状抑制対策として深層混合処理工法を行った場合の効果について FEM 等により解析・検討した結果を報告する。

※参加希望の方は **10/20（金）・12:00** までに必ずメールでご連絡ください。

※参加費：当研究会の個人会員及び特別会員は参加費無料。

それ以外の方は参加費(1,000 円)が必要です。当日の受付でお支払いください。

※参加証明書が必要な方は申し込みの際にその旨をご連絡ください。

軟弱地盤研究会事務局

担当：喜連川 聡容（Kirekawa Toshihiro）

E-mail: [asgt@sagacat.or.jp](mailto:asgt@sagacat.or.jp)

URL: <https://www.sagacat.or.jp/asgt/index.html>

〒849-0936 佐賀市鍋島町大字森田 912 番地 （公財）佐賀県建設技術支援機構内

TEL(0952)97-5596 FAX(0952)97-5603